

技能五輪全国大会 石工職種実施要領

第 1 章 実 施 上 の 注 意

競技は、別に定める競技課題により行うものとするが、競技の実施について特に留意すべき事項は、次のとおりである。

なお、競技の実施形式及び競技時間は、次表のとおりである。

競 技 時 間	
標 準 時 間	打 切 り 時 間
1 0 時 間 0 0 分	1 0 時 間 3 0 分

1 競技の内容

みかげ石を使用して、競技課題に示す石製品を作製する。

2 競技前の準備

(1) 競技場の選定

- イ 天候に左右されず実施できること。
- ロ 床面積は、競技者 1 名当たりの作業場所が 3 m×3 m を標準とすること。
- ハ 床は、土間又はコンクリート床等とし、床面が安定しているとともに、清掃が容易であること。
- ニ 競技実施に支障のない照度を得ることができること。
- ホ コンプレッサー及び照明等が使用できる容量の電気設備が設置されていること。

(2) 競技用材料

競技場に準備する支給材料は、「第 2 章 設備基準」に示すとおりとするが、その準備に当たり特に留意すべき事項は、次のとおりである。

- イ 石の種類は、原則として、次表のとおりとする。

区 分	石 の 種 類
硬 石	花 こ う 石 （ み か げ 石 ）

- ロ 支給する石は、裏面及び下端面にねじれがなく、^{かね}矩になるように平面加工すること。

(3) 競技用設備

競技場に準備する設備は、「第 2 章 設備基準」に示すとおりとする。

(4) 競技場の整備

- イ 競技者の作業場所は、白墨等で区画し、競技番号を表示して、競技者の作業すべき場所を明示すること。
- ロ 支給材料は、各競技者の作業場所に配置しておき、数量等を点検し、確認しておくこと。
- ハ 作業場所は、競技者の作業修了の申告等が確認できるように配置すること。
- ニ 粉じんを避けるため、集じん機の使用を原則とし、やむを得ない場合は、扇風機等を用いる。
- ホ コンプレッサーは 3.7kW 1 台につき競技者 2 人とし、カプラー付きとする。

3 実施に当たっての注意事項

- (1) 競技開始前には、競技者が持参した工具等を点検し、使用工具等一覧表に記載されている以外のものは、使用させないこと。
- (2) 競技開始前には、4に示す「競技者に対する説明事項」を説明した後、競技者から質問を受けてもよいが、競技課題のヒントになるような質問には、一切答えないこと。
- (3) 競技中適当なときに、15分程度の休憩時間を午前1回・午後1回、一斉に与えることとし、その時期をあらかじめ競技者に周知させること。
なお、休憩時間は、競技時間には含めないものとする。
- (4) 次に示すときには、競技時間の経過を競技者に周知させること。
 - イ 競技開始時
 - ロ 標準時間の30分前
 - ハ 標準時間
 - ニ 打切り時間
 - ホ その他、休憩時間を設けた場合は、その開始時と終了時

4 競技者に対する説明事項

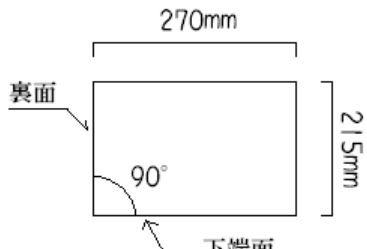
競技委員は、競技開始前に競技課題（注意事項、仕様等）を読み上げ概要を説明するものとするが、それに次の事項を必ず付け加えること。

- (1) 作業は、競技委員の合図で一斉に始めること。
- (2) 作業は防じんマスク、保護めがねを使用して行うこと。
- (3) 休憩時間の指示があったらこれに従うこと。
- (4) 作業終了後の後片づけは、作業時間には含まないものとする。
なお、後片づけは、競技委員の指示に従って行うこと。
- (5) 怪我のないよう、機械を使う際には特に安全に注意して作業すること。

第2章 設備基準

1 競技材料

競技場に準備する支給材料は、次表のとおりである。

品 名	寸 法 又 は 規 格	数量	備 考
み か げ 石	(約)330 mm×215 mm×270 mm 裏面及び下端面は、直角に平面加工してあるもの	1	

2 競技用設備

競技場に準備する設備、器工具は、次表のとおりである。

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
テーブルタップ	125V・15A 以下	適 当 数	
コンプレッサー	3.7kW	競技者 2 人につき 1 台	カプラー付き
テンプレート	アルミニウム板製	2	ゲージ（型板）

3 採点用器工具

採点に使用する採点用器工具は、次表に示すとおりとし、競技者数、採点者等に応じて、適当数を準備すること。

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
ス ケ ー ル	J I S B 7 5 1 6 3 0 0 mm程度	適当数	寸法精度採点用
さ し が ね	J I S B 7 5 3 4 呼び寸法 3 0 0 mm程度	〃	〃
テーパーゲージ	No. 7 0 0 A	〃	寸法精度採点用
時 計	秒単位の読めるもの	〃	作業時間採点用
テンプレート	アルミニウム板製	〃	競技者の使用したもの

第 3 章 採点基準

採点基準の概要は下記の表とおりとする。

採 点 項 目		配 点
製品	寸 法 精 度	6 0
	で き ば え	1 5
仕 様 誤 り		1 0
作 業 態 度		5
作 業 時 間		1 0
合 計		1 0 0

第 5 5 回技能五輪全国大会 石工職種競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、課題図に示す製品を作製しなさい。

1 競技時間 1 0 時間 0 0 分 打ち切り時間 1 0 時間 3 0 分

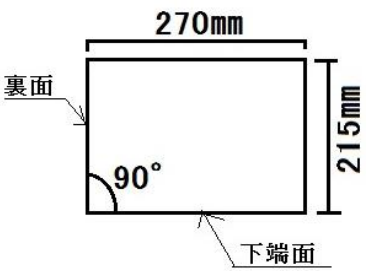
2 注意事項

- (1) 支給された寸法等が、「4 支給材料」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。
- (4) 使用工具等は、使用工具等一覧表で指定したもの以外のものは使用しないこと。
- (5) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (6) 作業時の服装等は、作業に適したものとし、防じんマスク、保護メガネを使用して行うこと。
- (7) 標準時間を超えて作業を行った場合は、超過時間に応じて減点される。
- (8) 完成作品の墨は、裏面・底面以外はすべて消すこと。
- (9) 作業が修了したら、競技委員に申し出ること。

3 仕 様

- (1) 墨付けの仕方
 - ① 左右に関しては、墨を中心から振り分ける。
 - ② 前後に関しては、加工しない後ろから墨を付ける。
 - ③ 上下に関しては、加工しない下から墨を付ける。
- (2) 墨付け及び加工には、支給された「テンプレート」を用いること。
- (3) 小たたき仕上げの間隔は、2 mm程度とする。
- (4) びしょん仕上げの部分は、15 mm程度のふち取りをしてから、8 枚びしょん仕上げとすること。

4 支給材料

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
み か げ 石	(約)330 mm×215 mm×270 mm 裏面及び下端面は、直角に 平面加工してあるもの	1	

技能五輪全国大会石工職種使用工具等一覧表

(1) 競技に持参できるもの

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
さ し が ね	J I S B 7 5 3 4	2	
ス コ ヤ		1	
墨 つ ぼ		1	
墨 さ し		1	
コ ン パ ス		1	
三 角 定 規		1	
の み	大・中・小	各1	
せ っ と う	中・小	各1	
こ や す け		1	
端 切		1	
両 刃	荒・仕上げ	各1	
片 刃		1	
び し ゃ ん	荒（鬼）、8枚	各1	
刃びしゃん	（割刃）	1	
こ べ ら		1	
エアーハンマ		4	チッパーの大きさは自由（びしゃん専用機は不可）
エアーのみ	通常使用しているもの	一式	のみ、こべら（刃幅は自由）、びしゃん、平タガネ
枕 木		1	作業に適したものを使用すること
敷 き も の	南京袋又は古毛布	1 枚	
手 ば う き		1	
鉛 筆		適当数	又は水性マジック（細）
作 業 服 等		一式	
防じんマスク	国家検定品 RS1,RL1,DS1,DL1 以上	1	サカキ式 1021R 型(RL2)
保 護 メ ガ ネ		1	
ホ ー ス	5 m	1 本	コンプレッサーからの接続用
エアー分配器		1	
ペ ン チ		1	エアー道具手入れ用
ド ラ イ バ ー		1	エアー道具手入れ用

- (注) 1. 使用工具等は、上記のものに限るが、すべてを用意しなくてもよく、また、同一種類のものを予備として持参することはさしつかえない。
 2. 会場に、工具研磨用のグラインダーは無い場合、エアーのみは多めに持参すること。

(2) 試験場に準備されているもの

品 名	寸 法 又 は 規 格	数 量	備 考
テーブルタップ	1 2 5 V ・ 1 5 A 以下	適当数	
コンプレッサー	3.7 k w	競技者 2 人につき 1	
ゲージ（型板）	アルミニウム板製	2	

第 5 5 回技能五輪全国大会 石工職種競技時間

標 準 時 間	打 切 り 時 間
1 0 時 間 0 0 分	1 0 時 間 3 0 分

第 1 日 目 競 技 時 間

競技	午前	9 時 0 0 分～1 0 時 3 0 分
休憩	午前	1 0 時 3 0 分～1 0 時 4 5 分
競技	午前	1 0 時 4 5 分～1 2 時 3 0 分
昼食	午後	1 2 時 3 0 分～ 1 時 3 0 分
競技	午後	1 時 3 0 分～ 3 時 0 0 分
休憩	午後	3 時 0 0 分～ 3 時 1 5 分
競技	午後	3 時 1 5 分～ 5 時 1 5 分

第 2 日 目 競 技 時 間

競技	午前	9 時 0 0 分～1 0 時 3 0 分
休憩	午前	1 0 時 3 0 分～1 0 時 4 5 分
競技	午前	1 0 時 4 5 分～1 2 時 3 0 分
標準時刻	午後	1 2 時 3 0 分
打切時間	午後	1 時 0 0 分